

事業所名

クローバーの家（児童発達支援）

支援プログラム

作成日

令和7年

2月

14日

| | | | | | | | |
|-----------|-----------------|---|----|-----|---------|---------|---|
| 法人（事業所）理念 | | 「すべての人に、生まれ育った地域で、自分らしく安心して暮らせる社会を」私たちは、ご家族や支援者とともに、一人ひとりの尊厳を大切にし、障がいの有無に関わらず、誰もが幸せに暮らせる共生社会の実現に貢献します。私たちの施設は、単なる預かりの場ではなく、利用者が自分の家のようにくつろぎ、笑顔で過ごせる「もうひとつの家」であることを大切にします。 | | | | | |
| 支援方針 | | <ol style="list-style-type: none"> （個を尊重した支援）利用者一人ひとりの個性や想いを大切にし、その人に合った支援を提供します。 （家庭のような温かい環境づくり）「家」という名前にふさわしく、安心して過ごせる温かい環境を整えます。 （地域とともに歩む）地域の方々と連携し、障がいの有無に関わらず、共に支え合う社会を目指します。 （継続的な成長と発展）ご家族や支援者の皆さまと共に学び続け、より良い支援の在り方を追求し、発展し続けます。 （安心・安全な生活の提供）医療的ケアが必要な方々にも、安全で快適な生活環境を提供し、ご家族が安心できる支援を行います。 | | | | | |
| 営業時間 | | 9時 | 0分 | 17時 | 0分 | 送迎実施の有無 | あり なし |
| 支 援 内 容 | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 来所時及び昼食後には検温を行います 個々に合わせた食事形態を提供し、摂取量の把握をしていきます 医療的ケアが必要な利用児には保護者や主治医、学校と連携をとりながら看護師が必要な対応をとっていきます | | | | | |
| | 運動・感覚 | 活動の中で個別に合わせて身体を動かせる機会を作っていきます 見る・触る・聞く・嗅ぐ・味わう等、五感で感じながら楽しめる活動を取り入れていきます それぞれの身体の特性に合わせた訓練を行っていきます | | | | | |
| | 認知・行動 | 朝の会では、日付・曜日・天気を確認し意識づけています 毎月、製作活動をする中で、形や色を選ぶこと、さまざまな素材を楽しむようにしています 呼名を行い、利用児の参加確認をしています | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | 絵カードや写真など選択肢を持つことで本人から表出されるしぐさや動きで気持ちを引き出すようにしています 会話ややり取りを楽しむ中で、さまざまな人との関わりを楽しめるようにしています | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | 散歩に出かけたり、ルールのある活動や、生活の流れに沿って行動する事を通じて、社会性を身に付けられるようにしています 集団活動の中でさまざまな人との関わりを楽しめるようにしています | | | | | |
| 家族支援 | | 月2回施設の解放デーを設けて自由に見ていただくことが出来るようにしています 定期的に懇談の場を作り、相談に応じています | | | 移行支援 | | 保育所・学校との移行会議や引継ぎ会に参加し、情報共有をしています 就園・就学等の将来的な移行に向けた支援をしています |
| 地域支援・地域連携 | | 見学をいつでも誰でも気軽に来ていただける環境にしています 市役所・学校と必要に応じて情報共有を行います | | | 職員の質の向上 | | 資格取得に向けての研修に参加しています 虐待防止において外部の研修に参加しています 虐待防止、感染防止等の内部研修を実施しています |
| 主な行事等 | | 毎月の誕生会 避難訓練 各種季節行事など 秋祭りをを行い、家族・きょうだいに参加していただき、交流の場としています | | | | | |